

各 位



平成 29 年 3 月 28 日

上場会社名 綜研化学株式会社  
代表者 代表取締役社長 逢坂 紀行  
(コード番号 4972)  
問合せ先責任者 執行役員経営管理部長 滝澤 清隆  
(TEL 03-3983-3268)

## 新中期経営計画「New Value 2019」の策定について

当社は、2017 年度から 2019 年度までの新たな中期経営計画「New Value 2019」を策定いたしましたので、その概要をお知らせいたします。

### 1. 現中期経営計画「New Value 2016」の総括

2014 年度にスタートした 3 ヶ年の中期経営計画「New Value 2016」では、「中国・東南アジア地域での事業拡大」と「新たな製品・サービスの創出」を基本方針として掲げ、中国での生産能力増強による競争優位性の確保、新規分野・顧客・地域開拓による事業領域の拡大、研究・技術開発体制強化による新製品・サービスの創出に取り組み、事業基盤の強化に努めてまいりました。

しかしながら、現中期経営計画の最終年度となる 2016 年度の業績は、中国やアジア新興国の景気減速に伴う事業環境の悪化、新規事業の立上げ遅れなどにより、売上高・利益目標とも大幅に下回る見通しです。

今後につきましても、当社グループを取り巻く事業環境は不透明かつ厳しい状況が続くと見ており、これまでの取り組みで築いた事業基盤をより強固なものとし、市場環境の変化に対する感度を高め、顧客ニーズを先取りした製品開発・提案力を高めていくことが今後の課題と認識しております。

### 2. 新中期経営計画「New Value 2019」の概要

新たな中期経営計画「New Value 2019」(2017 年度～2019 年度)では、現中期経営計画「New Value 2016」の基本方針を踏襲し、中国地域を中心に市場・顧客ニーズへの対応力をより高めることで事業規模の拡大と収益性の向上を果たすとともに、革新的な材料・技術の開発・導入、新規事業領域開拓など、新たな価値創造に向けた投資を拡大することで持続的な成長路線の確立を目指し、アジア地域における当社グループの存在感を高めてまいります。

#### (1) 基本戦略

##### ① 既存事業の事業領域拡大と収益性向上

市場環境・顧客ニーズの変化に適応した販売・開発・生産体制を構築するとともに、グループ全体最適を指向した生産性の改善によりコスト競争力を強化する。

- ② 将来に向けた新たな製品・サービスの創出  
技術革新が進む分野をターゲットとした新規材料・技術の開発・導入を促進するための研究開発体制を構築し、新製品・サービスの開発・事業化を加速する。
- ③ 持続的成長を支える経営基盤の強化  
資産・資本効率を高めながら成長分野への積極投資を推進するとともに、環境変化に迅速かつ柔軟に対応するためのリスク管理体制を強化する。
- ④ 環境変化に適応する多様な人材の確保・育成  
海外事業の成長を支えるマネジメント人材と、新たな価値創造を実現する多様な人材を確保・育成し、活躍できる環境を整備する。

(2) 数値目標

(単位：億円)

	2016 年度予想	2019 年度計画
連結売上高	265	310
連結営業利益 (売上高営業利益率)	24 (9.1%)	30 (9.7%)
ROA	6%	8%以上
ROE	7%	9%以上

【 セグメント別売上高 】

ケミカルズ	237	281
粘着剤	131	150
微粉体	26	31
特殊機能材	31	34
加工製品	47	60
ナノインプリント	2	6
装置システム	28	29

【 投資計画 2017～2019 年度 】

設備投資	55
成長投資枠	30

以上

※ 本資料に記載されている将来に関する内容は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、その実現や達成を保証するものではありません。